#### 事務事業評価シート

評価実施年度: 平成30年度

施策 [ -2-2 上位の施策名称 県産品の販路開拓・拡大の支援

#### 1 東黎東業の日的。 塩亜

しまわブランド推進課長 福間 **事務事業捐当課**集 古 電話悉号 ○852-22-6858

	.尹勿尹未り口曰	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	チがチ木についた	ひの(はグラグト)正定訴及		400 H J	0002		0000
事務事業の名称		県産品販路拡大	業事業						
目的	(1) 対象	県産農林水産物とその加工	C品の生産者·製造者						
		県外への販路を拡大する							
Г	県内で生産される農林水産物、加工製造される食品の販路拡大を図るため、大消費地を対象に事業者が取り組む販売促進活動を支援する。								

事 〇県パートナー店等との連携によるフェア開催やバイヤー招聘

○インターネットを活用した県産品の紹介 ○インターネットを活用した県産品の紹介 ○消費者ニーズ、小売店等の意見を反映した商品開発を事業者自ら取り組むために、必要な知識や手法を学ぶ研修会やモニターを活用したニーズ調査支援を実施 ○にほんばし島根館及び物産観光館における県産品の紹介、斡旋 概

要

### 2.成果参考指標

	成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	ties	指標名	県内食品加工事業者のうち、主原料に主に県内農林水産物を使 用する事業者の割合	目標値		30.0	33.0	36.0	40.0	
	J 181	示口		取組目標値						%
		<b>.</b>	事業者の割合	実績値		54.0	43.0			
	定	義		達成率	_	180.0	130.4	_	_	%
2	+15+	指標名	しまね県産品販売パートナー店における県産品年間販売額	目標値		1,333.0	1,395.0	1,461.0	1,530.0	
	1			取組目標値						百万円
	左	<del>_+</del> .	年間販売額	実績値		1,898.3	1,468.8			
	定			達成率	_	142.5	105.3	_	_	%

#### 3.事業費

		前年度実績	今年度計画
事	業費(b)(千円)	146,938	159,150
	うち一般財源(千円)	113,081	151,739

#### 4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況	③改善策を検討中
-------------------------	----------

# 5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

H29年度実績

- 〇パートナー店等でのフェア開催実績は、開催回数38回、参加事業者数(延べ)580 〇パートナー店等を招聘した県内産地視察・商談会実施回数 37回、商談事業者(県内生産者)数 延380社、商談件数 443件 〇消費者モニター事業活用事業者(商品開発・改良を行った事業者)は6社であった。

○○にほんばし島根館年間販売額(外商含む)は321百万円であった。 ○食のイメージ45位、食べたことのある品47位、食べてよい印象が残った:米24位、水産物12位、水産加工品9位、乳類5位(都道府県順位2017バイヤーズガ イド調査)

# 

・島根フェア開催支援及びバイヤーや料理人へ の商品提案により、県産品の県外への取引が拡 大している。

- ・ 県内生産者・製造業者向け基礎講座や消費者 ニターにより商品ブラッシュアップを図った 結果、11社が展示会に参加し、376商談が実 施された
- ・にほんばし島根館は、目標売上額を達成する など、首都圏消費者に対する島根の情報発信拠
- 点として有効に機能している。 ・アンケート結果から県内農林水産物を使用する食品加工事業者の割合は、目標値を超える値 43%となっている。(回答者数104)

## 7.まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

#### ①困っている「状況」

〇商品開発や販路拡大に取り組む意欲を有していても、市場ニーズ等の情報やノウハウ等の不足で対応 凩難.

- ○事業者自身の取組みで製品の魅力をPRするための営業力が不足。 ○物流コストの上昇を販売価格に上乗せすることが困難な現状。 ○加工原料としての農林水産物の生産はロット不足や価格調整、納入形態の問題等で進んでおらず、需 要に応じた生産が不十分。
- ○農林水産物の有利販売が困難

#### ②困っている状況が発生している「原因」

- である。 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 。 足。
- へ。 ○提案力や対応力といった、営業力強化の支援が不足。 ○大手宅配事業者の値上げ分に対する対応の検討が不足
- 〇加工需要に応じた生産規模拡大や低コスト生産に取り組む生産者への支援、さらに、1次加工済みの納入形態に対する需要に応じる1次加工処理を行う加工事業者への支援が不足。
- 〇生産者自らが有利販売につながる販売戦略を検討する機会の提供が不十分。

#### ③原因を解消するための「課題」

- ○事業者等が必要とする消費者情報や商品開発等を担う人材不足等への対応が必要。 ○営業力不足の事業者があり、そうした事業者にノウハウ蓄積や人材育成の支援が必要。 ○輸送コスト増加への対応が不足、高付加価値の商品開発支援や共同配送の仕組みの検討が必要。 ○加工原料供給に対する意欲喚起や加工原料生産体制の構築(栽培技術、低コスト生産、1次加工処理施設導入等)と生産規模拡大(6次産業化への誘導)への対応不足等への対応が必要。
- 〇生産者による売れる農林水産品づくりと生産者のための販売戦略づくり等の支援不足への対応が必

# 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ◆パートナー店を県産品の販売や広告の拠点、あるいは消費者ニーズを事業者に提供し付加価値の高い商品開発に繋がる助言等を行う存在として位置づけ。
- ◆事業者が県の仲介がなくとも自助努力で販路を確保・拡大するノウハウや人材確保が図られるよう必要な支援を実施。
- 販路確保の意欲は有しているが、商談会等へ出展機会を持つことができなかった事業者が出展しやすく効果の高い運営を検討。
  県外店と対等に商談を行えるよう人材育成の支援や効果的なPRを検討。
  個別指導、またはそれに近い少人数形式でのセミナー等を開催することで付加価値の高い商品開発の技術を取得できるよう支援。
- 物産協会の機能強化や地域商社等の設立等による効率的な物流システムやコスト高騰への支援策を検討。
- ・関係機関との連携により、県内農林水産品を原料とする加工食品を増やすため、生産者と加工業者のマッチングや情報提供等を実施。 ・6次産業化に向けた生産者の活動や、生産拡大のための設備投資に対する支援、1次加工処理が可能な施設整備や仕組みづくりに対する支援。 ・売れる農林水産品作りに向けた販売戦略づくりや販路拡大への総合的な支援。











# 事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称

県産品販路拡大事業

# 成果参考指標の目標(実績)

項番		成果参考指標名等	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
	指標名	にほんばし島根館の年間販売額	目標値		385.0	385.0	385.0	385.0	
3			取組目標値						百万円
3	式·	左眼呢主奶	実績値	437.0	431.0	321.0			
	定義	年間販売額	達成率	_	112.0	83.4	_	_	%
	指標名	バイヤーズカタログ(バイヤー等に対し インターネット上で県産品を紹介する Webサイト)の閲覧数	目標値		2,500.0	3,000.0	3,500.0	4,000.0	
4			取組目標値						回
4	式·	<b>周日 陸左 米</b> が	実績値		5,000.0	10,077.0			
	定義	閲覧数	達成率	_	200.0	335.9	_	_	%
	指標	生産者・製造業者向け基礎講座の受	目標値		20.0	40.0	60.0	80.0	
5	名	講者人数	取組目標値						人
J	式·	平成28年度からの受講人数の累計	実績値	18.0	17.0	36.0			
	定義		達成率	_	85.0	90.0	_	_	%
	指標名	消費者モニター事業を活用して商品 開発・改良を行った事業者数	目標値		5.0	10.0	15.0	20.0	
6			取組目標値						者
0	式· 定義	平成28年度からの事業者数の累計	実績値	6.0	3.0	6.0			
			達成率	_	60.0	60.0	_	_	%
	指標名		目標値						
7			取組目標値						
,	式·		実績値						
	定義		達成率	_	_	_	_	_	%
	指標		目標値						
8	名		取組目標値						
	式·		実績値						
	定義		達成率	_	_	_	_	_	%
	指標		目標値						
9	省	名							
	式·		実績値						
	定義		達成率	_	_	_	_	_	%
	指標		目標値						
10	名		取組目標値						
10	式·		実績値						
	定義		達成率					_	%